

三豊市文書館だより



# 七宝

Vol.19

平成 28 年 11 月 1 日



## 丸岡呉服店 昭和 10(1935)年頃 三野町下高瀬

昭和 10(1935)年に丸岡呉服店が開店しました。丸岡呉服店は屋号を「ヤマヤ」と言います。この地域では珍しい昭和初期の洋風建築です。昭和 24(1949)年頃までは呉服店として利用されていましたが、昭和 25(1950)年からは下高瀬簡易郵便局として利用されています。正面のショールームが、現在は改修されています。

## 普及事業

### ◎ 秋期企画展「なつかしの建造物、あらたな建造物」

11月29日(火)まで、文書館を会場に開催しています。

三豊市が誕生して10年になりますが、その間に多くの施設が姿を消し、新たに誕生しています。

そのような施設のなかには、かつての施設を転用したものもあります。例えば笠田高等学校財田分校が閉校になると、その校舎が改造され財田中央公民館として利用されるようになりました。そしてその老朽化により新しく財田町農業総合会館が建設され、それを改修して現在の財田町公民館となっています。また今年は高瀬町地域農産物利用促進センター(高瀬町学校給食センター)、豊中町学校給食センター、財田町学校給食センターがその役目を終え、新たに三豊市南部学校給食センターが建設され、その役割を引き継いでいます。このように市内のさまざまな施設にも歴史があり、市民の皆様もそれらに多くの思い出をお持ちのことでしょう。

平成28(2016)年度秋期企画展は「なつかしの建造物、あらたな建造物」と題し、このような施設に焦点をあて、その変遷を歴史公文書と古写真から紐解いていきます。また三豊市内には香川県の近代化遺産・近代和風建築として調査されてきた建造物も数多く残っています。あわせてそれらも紹介します。

#### 《展示資料紹介》



#### 高瀬町役場麻支所 昭和31(1956)年(左)・

#### 東善公民館 平成28(2016)年(右) 近代和風建築

麻小学校近くにあった麻村役場は、昭和30(1955)年の合併により、高瀬町役場麻支所となります。昭和34(1959)年に麻支所は廃止され麻連絡所となりましたが、昭和39(1964)年には連絡所も廃止されました。

昭和43(1968)年に有償で払い下げを受け移築して、現在は東善公民館として利用されています。

#### 建設中の加嶺隧道 昭和7(1932)年 近代化遺産

加嶺隧道を含む府県道仁尾詫間線(現、主要地方道丸亀詫間豊浜線(県道21号線))の工事は、昭和3(1928)年に着工され、昭和9(1934)年に竣工した難工事でした。加嶺峠も難所の1つで、加嶺隧道は昭和7(1932)年に竣工しました。





## ◎ 香川高等専門学校 詫間キャンパスとの共同事業 香川県粟島元船員による、僕らの思い出の写真展 「島のじいちゃんが行った世界の港町」

Vol.17で紹介しましたとおり、文書館では香川高等専門学校詫間キャンパスと共同で、粟島海員学校とその卒業生に関する資料を収集・保存する事業をおこなっています。その成果の一端を紹介するため、粟島海洋記念館にて写真展「島のじいちゃんが行った世界の港町」を開催しています。

粟島海員学校の卒業生は外国航路の船員などとして、世界中を航海しています。その卒業生が訪れた世界各国の港町や船上での仕事・暮らしの様子を撮影した写真のなかから厳選した107枚を18のパネルにまとめ展示しています。

会期は11月6日(日)まで。観覧は無料ですが、瀬戸内国際芸術祭開催中につき、粟島海洋記念館に入るために鑑賞料500円が必要です。



## ◎ 夏期企画展 「三豊の大正時代 ～ 小学校に残されていた資料から～」報告

平成28(2016)年7月1日(金)から8月30日(火)まで開催しました。会期中、約330名の来館がありました。

本企画展では、今年3月で閉校となった小学校で発見された、大正4(1915)年の大正天皇即位大嘗祭および大正11(1922)年に三豊地域でおこなわれた陸軍特別大演習に関する古写真を中心に展示しました。

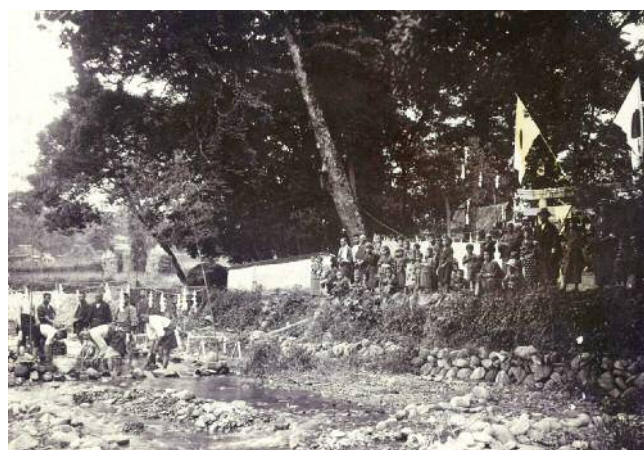
《アンケートの声》

### ◎大正天皇即位大嘗祭

- ・早乙女による田植えの写真を見て、「田植えを見学する人など、周りにいる人々の生活ぶりが見えて楽しかった。」
- ・長野川で苗洗いの写真を見て「昔はさぞかし水もきれいだったと思う。」

### ◎陸軍特別大演習

- ・お子様から「田んぼで鉄砲を撃つ練習をしていて驚いた。」



長野川での苗洗い (大正4・1915年)

## 文書の移管・整理・公開

### ○お詫びと訂正

(平成 27 年度 三豊市

文書ファイル 移管状況)

三豊市文書館だより『七宝』  
Vol.18 の「文書の移管・整理・公開」に掲載した「三豊市文書ファイル 移管状況」の表に間違いがありましたので、訂正のうえお詫び申し上げます。本来なら平成 27(2015)年度に移管した三豊市文書ファイルの一覧を掲載すべきところ、誤って平成 28(2016)年度

### 平成27年度 三豊市文書ファイル 移管状況

分類	点数
平成21年度作成 5年保存文書	990件
平成23年度作成 3年保存文書	457件
平成25年度作成 1年保存文書	77件
その他の文書	14件

### 平成28年度 三豊市文書ファイル 移管状況

分類	点数
平成17年度作成10年保存文書	344点
平成22年度作成 5年保存文書	1283点
平成24年度作成 3年保存文書	727点
平成26年度作成 1年保存文書	173点
その他の文書	整理中

におこなった移管作業の中間報告を掲載しておりました。そのため、今回、「平成 27 年度 三豊市文書ファイル 移管状況」をあらためて掲載します。読者の皆様には、深くお詫び申し上げます。

### ○平成 28 年度 三豊市文書ファイル 移管状況

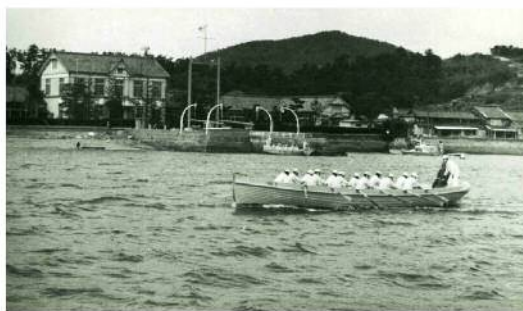
平成 28(2016)年 4 月から本庁、各支所、各出先機関等の書庫をまわり実施しておりました、平成 27(2015)年度で保存期限が満了となった三豊市文書ファイルの評価選別作業および移管作業が 8 月に終了しました。その結果を「平成 28 年度 三豊市文書ファイル 移管状況」にまとめました。

### ◎ 秋期企画展 絵はがき 頒布中！

秋期企画展にあわせ、3種類の絵はがきを作製しました。

- ・丸岡呉服店 昭和 10(1935)年頃
- ・国立栗島海員学校 昭和 45(1970)年頃
- ・加嶺隧道 昭和 9(1934)年

頒布価格 1 枚 100 円 頒布場所 三豊市文書館



国立栗島海員学校 昭和 45(1970)年頃 明治 30(1897)年に日本最初の海員養成校として設けられた村立栗島海員練習学校が、国立栗島海員学校の起源である。

◎ 情報提供のお願い 文書館では、まちの風景や催事などの古い写真を収集しています。原本はお返ししますので、情報の提供をお願いします。

三豊市文書館だより「七宝」Vol.19

発行日：平成 28(2016)年 11 月 1 日

編集発行：三豊市文書館

開館時間：午前 9 時～午後 5 時

休館日：月曜日・祝日

URL：<http://bunsho.city.mitoyo.lg.jp>

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西 375 番地

TEL：0875-63-1010

FAX：0875-63-1006

E-mail：[bunsho@city.mitoyo.kagawa.jp](mailto:bunsho@city.mitoyo.kagawa.jp)

